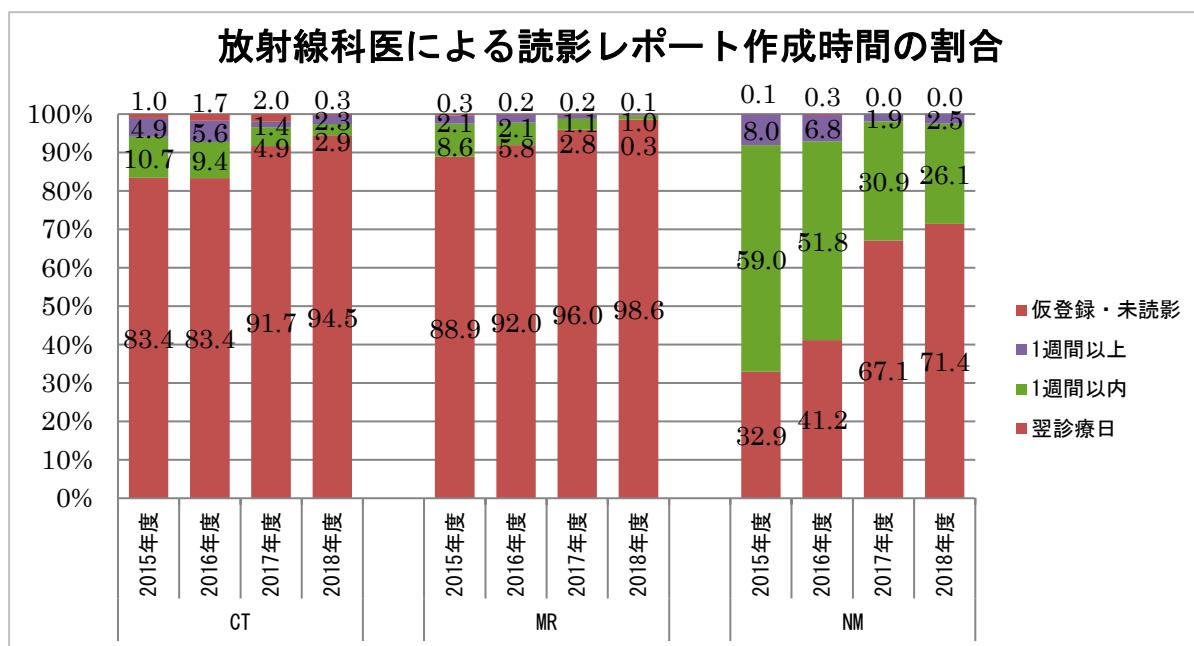


40. 放射線科医による読影レポート作成時間の割合



画像診断が行われるまでの期間の短縮は、より良い医療の提供において必須事項である。また、画像診断の専門医による読影は、正確な診断と質の高い治療を行う上で非常に重要である。

当院においては、検査の予約枠の見直しや稼働時間を拡大する事により、CT検査・MRI検査・核医学検査において検査件数の増加を達成してきた。また、2018年度は画像診断管理加算3を取得するための体制を整え、被ばく線量の管理や撮影条件の見直しについても随時行っている。

専門医による報告書については、年々その作成にかかる時間を短縮することができおり、2018年度は翌診療日までの読影がCT検査で約95%、MRI検査では約99%となっている。ただし、CT検査・MRI検査共に、報告書が100%作成されるには至っていない。

核医学検査については、検査後の画像解析に時間を要するため翌診療日までの報告書作成率は70%程度となっている。ただし、その後1週間以内では約98%を超える作成割合となり、最終的には100%の検査報告書が作成されている。

正確な診断とより質の高い治療を提供するためにも、画像診断による読影報告書は迅速かつ正確に作成される必要がある。

データ提供：放射線部